

サステナブルな社会へ ～JSにできること～

JSにおけるSDGs

環境問題や貧困問題、ジェンダー平等など様々な課題が山積する現代、SDGsへの取り組みはあらゆる企業が取り組むべきテーマです。JSは、集合住宅の価値向上をはじめとする多様な事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。まずはSDGsを通して、従業員一人ひとりが、自分の仕事を大きな視点から相対的に考え、行動を開始することにより、社会課題の解決にどうつながるのか考える力を身に付けていきます。

SDGsのゴール	当社の取り組み概要
3 すべての人に健康と福祉を	従業員の健康保持・増進のための各種施策の推進など
4 質の高い教育をみんなに	職業訓練校の充実や企画提案力のある人材育成、協力会社支援など
5 ジェンダー平等を実現しよう	すべての人がやりがいをもって生き活きと働く職場づくりなど
6 安全な水とトイレを世界中に	住宅の迅速適切な修繕や安全・安心・快適な居住空間づくりなど
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	ISO14001の取り組みや社会貢献できる新たな技術開発への取り組みなど
8 働きがいも経済成長も	企画提案力の強化やCS・ESに関する意識向上への取り組みなど

SDGsのゴール	当社の取り組み概要
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	新たな技術開発への取り組みやデジタルイノベーションの推進など
11 住み続けられるまちづくりを	団地の活性化やミクストコミュニティ形成等の取り組みなど
12 つくる責任 つかう責任	産業廃棄物の適正管理やリサイクル、コスト縮減、仕様・工法・施工等の効率化の研究・開発など
13 気候変動に具体的な対策を	建物改修維持保全技術の研究、商品開発など
16 平和と公正をすべての人に	内部統制の適切な運用や法令違反等に関する社会的信用を失うリスク対応など
17 パートナシップで目標を達成しよう	協力会社の施工体制維持や連携支援による業務執行体制の強化など

SDGsとは：2015年9月、国連サミットで2030年を達成期限として採択された「持続可能な開発目標」(17の目標(ゴール)と169のターゲット)。

JSの活動事例

エネルギー使用の見直し



当社では、「地球環境にやさしい社会の実現に貢献します」を経営理念の一つに掲げ、地球環境保護・汚染予防の実現を目的として、エネルギー使用量の削減に取り組んでいます。

項目	2015年度実績	2020年度実績	
CO ₂ 排出量	5,240	3,373	[t-CO ₂]
電力使用量	3,171	2,996	[千kWh]
ガス使用量	67	48	[千m ³]

CO₂排出量の削減

当社は省エネ法の特定事業者として全事業所のエネルギー使用量及びCO₂排出量を経済産業省へ報告しています。事務所等の電気及びガスの使用に伴って排出するCO₂排出量は年々削減しています。

電力使用量の削減

本社・支社・支店の各事務所では、2012年度の電力使用量を維持管理指標として節電に取り組んでいます。環境ISOを導入し、電力使用量の集計を開始した2010年度以降、自社ビルでのデマンド管理システムの導入やLED照明、省エネタイプの空調設備への切替え等を実施し、節電に取り組んでいます。

ガス使用量の削減

事務所等で使用する都市ガス等の使用量削減に取り組んでいます。

「団地」を通してできること



「団地価値向上のためこんなことをやりたい」という仕事の枠を超えて社員の主体的な提案に基づき、社員が満足感や達成感を味わうような活動として、団地スマイル運動を行っています。社員が自ら積極的に体を動かして行動することにより、お客さまの満足度向上や、地域の活性化に寄与します。

【団地スマイル運動実施例】

- ・花いっぱい運動
- ・防災行事・防災訓練参加
- ・なんでも相談会開催
- ・団地祭り・敬老行事の支援
- ・イベント開催
- ・団地美化運動 等



一人ひとりの声を大切に



「お客さまの声」を大切にし、サービス向上につなげていくとともに、お客さまが安全・安心・快適な暮らしができるようサポートします。

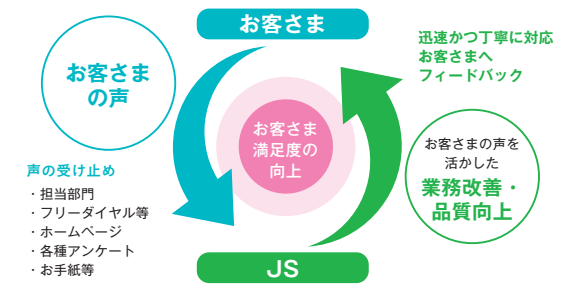
お客さまの声白書の発行

お客さまからお寄せいただいた「声」や、お客さまの声を基点とした仕事の仕方、サービスのあり方などの改善事例、主要業務である団地の維持管理業務を通してお客さまに安心・快適な住環境をお届けするための様々な取組事例などを紹介した「お客さまの声白書」を発行。

JSリフォームアンケート

当社においてリフォーム工事等を施工させていただいたお客さまに対してリフォームアンケートを実施しています。ご返送いただいたご意見は、「お客さまの声システム」に入力し、組織内でも情報共有しサービスの更なる向上や業務改善につなげています。

お客さまから寄せられる声における対応の流れ



技術を活かしてムダをなくす



当社の工事で発生する産業廃棄物について、資材の簡易包装によるごみ減量化や金属くずのリサイクル処理、古量の肥料化やセメント燃料化等の再資源化に取り組んでいます。また、産業廃棄物の分別を徹底し混合廃棄物の比率を低減させる取り組みを進めています。

産業廃棄物の適正処理

小規模修繕工事で発生する産業廃棄物は、事業場外保管場所に集められ、そこから収集運搬業者により搬出されます。この事業場外保管場所では、産業廃棄物の種別ごとにコンテナを配置し、協力会社とともに分別に取り組んでいます。大規模修繕工事では、団地内の限られたスペースに複数のコンテナを置き、分別を行っています。

